

市政のあり方を問う！

コロナ禍での市政運営



未来 高橋寿治

行財政改革
問 行財政改革運営指針(案)の基本的方向性は。
答 「健全な行財政運営」「職員の意識改革」「行政資源の最適化」の3つを軸に進めていく。

教育
問 コロナ禍において、子どもたちが前向きになれる取り組みは。
答 コロナに負けない元気になれるメッセージを子ども、教職員、保護者、地域から募集・紹介し、お互



「親学講座」の様子

親学講座
問 ゲーム・ネット依存の「親学講座」とは。
答 睡眠・学習時間不足、ネットいじめ等、依存から起こる問題を親子で学び、帰宅後の時間の使い方、ゲーム、スマホ利用のルールを親子で考えるというものである。

い前向きになれる機会や、津山の歴史・文化クイズに挑戦し、津山の良さや魅力を再発見する楽しさを感じる機会をつくっていく。

行政事務の効率化は進んでいるのか



令和倶楽部 田口浩二

行政改革
問 人工知能や自動化技術の導入に向けた進捗状況はどうか。
答 昨年度の実証実験で課題が浮き彫りになった。現在、新たな実証実験を予定している。デジタル化についても、みらい戦略プロジェクトチーム(※)との整合を図りながら実行計画に位置付けていく。

学力・学習調査
問 岡山県学力・学習調査によれば、学力の向上が感じ



◆**その他の質問項目**
 議案第62号から65号の指定管理について

行政改革
問 各学校における児童生徒の課題を明らかにし、課題克服の取り組みを進めてきたことが成果としてあらわれたものと考えられる。今後は、成果のあった取り組みを各学校でさらに徹底して行うとともに、ICTを活用した授業も積極的に進めていく。

地域づくりサポートセンターなぜ廃止？



令和倶楽部 金田稔久

地域づくりサポートセンター
問 町内会・地域づくりがコロナで停滞した地域を再生させるため、より充実が求められる中、なぜ地域づくりサポートセンターの廃止を判断したのか。
答 利用者が既存組織に限定的であり、十分な機能強化につながっておらず、指定管理に委ねる事業規模ではないと判断し、市が直営で関わる



なぜ廃止と判断？(写真は地域づくりサポートセンター)

医療従事者の現状
問 働き方改革等により特に医療従事者の夜間勤務者確保に苦慮されている。夜間保育のニーズ調査を行うべき。
答 ニーズ把握は今後必要と考えている。

公共交通対策
問 コロナ禍で鉄道・バスは大幅利用者減となっており、総合的な支援事業を。
答 利用促進など多岐にわたる支援策を検討していきたい。

市政のあり方を問う！

一般質問

一般質問とは
 議員が市の行政全般について、市長など執行機関に方針や疑問点を質問するものです。詳細は津山市議会ホームページの「会議録検索」などでもご覧いただけます。(3月定例会初日に公開予定)
 また、各議員のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問の様子(録画映像)を見ることができます。

DXの活用とそのための環境整備を



未来 政岡哲弘

デジタルトランスフォーメーション
問 コロナ後を見据え、DX(デジタルトランスフォーメーション)(※)の活用により、行政コストを削減し、住民サービスの向上を図ることが重要な点である。そのための環境整備を。
答 情報通信網の早期整備が必要。令和4年度の完了を目指す。また、有能な人材を活用し、DXに関する取り組みを推進し、社会的・地域的課題の解決につなげたい。



観光施策の課題と対策は？

津山版DMOの状況と観光施策
問 後任の統括マネージャー人事と津山の観光施策の課題と対応策は。
答 各方面へ問い合わせ、人材確保に努めている。観光消費額と立ち寄り箇所数を伸ばす取り組みを考えている。

JR津山駅舎のバリアフリー化は



市政会 岡田康弘

津山駅バリアフリー化
問 JR津山駅舎バリアフリー化の今後の事業スケジュールは。
答 本年度から事業着手され、既存の跨線橋にエレベーターを設置するなどの計画で本年度は調査設計が行われる。2021年度から2年間で工事を実施すると聞いており市としてもスケジュールどおり進められるよう主力で取り組む。



早期にバリアフリー化を

駅南口に乗降できる通路などあればと思うが南北自由通路設置の必要性と今後の検討は。
答 南北自由通路の整備は駅の利便性や公共交通の利便促進、駅周辺地域の一体的なまちづくりはもとより、津山まなびの鉄道館をはじめとする駅周辺施設へのアクセス向上の観点からも重要と認識している。引き続き検討する。